

## サンバイノー モンゴルからかわいいお客さま

10月26日(木)、モンゴルから10人のかわいいお客さまが須恵町を訪れ、11月1日(水)までの間ホームステイを行いました。

訪れたのは、モンゴルの音楽学校で学んでいる10歳から18歳の子どもたち10人です。この子どもたちは、貧困などの理由で両親をなくし、以前はマンホールの中で生活をしていました。

今回の来日は、アジア諸国の戦争被災地や貧困地域の人権保護などに長年取り組んでいる、NPO法人アジアチャイルドサポート(池間哲郎代表理事)の働きによるものです。

子どもたちは、鮮やかな民族衣装で26日に中嶋町長を表敬訪問して「サンバイノー」(モンゴル語で「こんにちは」の意。)と、元気にあいさつをした後、見事な歌と楽器演奏を披露しました。

29日(日)には、アザレアホール須恵でチャリティー・コンサートが公演され、民俗舞踊や民俗楽器の演奏に、会場は来場者から感動の拍手につつまれました。

また、子どもたちは31日(火)に須恵東中学校生徒との交流会を行いました。ここでは、和太鼓やコーラス演奏、部活動体験などを楽しみました。夕方からは、ホストファミリーや関係者などによる、さよならパーティーが行われ、子どもたちとの別れを惜しんでいました。



東中学校で歓迎を受けるモンゴルの子どもたち



見事な舞踊や楽器演奏を披露

## 九州初! 東中学校に風力発電の照明灯

須恵東中学校(今泉靖親校長)に、ハイブリッド型の照明灯が設置されました。

これは、(財)九州地域産業活性化センターが行う、九州グリーン電力基金助成(風力発電)を受けて整備されたものです。この照明灯は、九州内の学校関係の施設では初の設置となり、風力発電の親機1機と子機2機があります。

高い場所に位置する同校の地形を利用して、これからは風力と太陽光のクリーンエネルギーを使った照明灯が、生徒たちの安全を見守ります。



玄関前に設置されたハイブリッド型照明灯

## 浦さんが背泳ぎで日本一

第23回日本身体障害者水泳選手権大会(日本身体障害者水泳連盟主催)が、10月21日(土)・22日(日)に大阪市舞洲障害者スポーツセンターで行われました。

この大会に、浦祐生さん(須恵区・53歳)が男子50m背泳ぎシニアクラスL3に出場して、1分02秒54のタイムで見事優勝をされました。なお、今回のタイムは大会新記録となりました。

浦さんは「大会はだめもとで出場しましたので、今回の成績は思いがけないものでした。来年は、この大会が福岡県で開催されるので、さらに練習を積んで記録を出したいです」と話されていました。



大会新記録で優勝した浦さん

## 篠原さんが福祉功労者表彰

民生委員・児童委員として功績が顕著であり、他の模範と認められ、その委員に12年以上在職する人に贈られる社会福祉功労者県知事表彰を、篠原ミチヨさん(昭穂区・57歳)が受賞されました。

篠原さんは、平成6年1月に厚生労働大臣から、民生委員・児童委員に委嘱されました。そして、同年に創設された主任児童委員制度の導入当初から務められています。以降、登校拒否などの児童および児童を取り巻く問題を学校、保護者と密接に連携をとり、一体となって児童の健全育成に取り組まれています。

この伝達式が、11月7日(火)に役場町長室で行われ、表彰状が授与されました。



表彰状を受ける篠原さん

## 第一小学校の給食が 佳作を受賞

平成18年度学校給食料理コンクール(福岡県教育委員会主催)が、10月19日(木)に筑紫野市の福岡県学校給食総合センターで行われました。

このコンクールに、須恵第一小学校(高橋秀喜校長)の給食調理員の浦忍さんが、粕屋地区を代表して出場し、課題部門で佳作(3位)を受賞されました。

コンクールは、課題部門と自由部門に分けて行われ、制限時間40分で料理の腕前を競い合います。県内から各地区コンクールを勝ち抜いた37校が参加しました。



佳作を受賞した浦さん

浦さんは「自分でもびっくりしています。受賞するとは思っていませんでした。」と話されていました。